

平成 29 年度 事業報告

1) 登録者：平成 29 年度は 253 名の純増があったので、合計は 17,898 名である。

《純増の内訳》

一般	22 名	長崎 LC	1 名	長崎出島 LC	1 名
諫早 LC	20 名	諫早東 LC	2 名	諫早セントマリオン LC	12 名
大村 LC	1 名	大村中央 LC	2 名	島原 LC	175 名
国見長崎 LC	1 名	高来小長井 LC	5 名	深江布津 LC	1 名
波佐見 LC	7 名	はさみ炎 LC	3 名		
					合計 253 名

2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。(平成 30 年 3 月 31 日現在)

献眼者数	50 名
摘出角膜数	99 眼 (1 名は片眼のみ摘出)
移植利用角膜数	53 眼
保存眼数 (表層移植用)	30 眼

※ 22 眼は感染症検査陽性等で利用不可のため廃棄処分にした

※ 5 眼は昨年度以前の保存眼を使用、1 眼は昨年度以前の保存眼を廃棄処分

(2) 長崎県の角膜移植待機患者数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

長崎大学病院	93 名	長崎医療センター	0 名
佐世保市総合医療センター	0 名		

計 93 名

【参考】角膜移植待機患者人数 (過去 15 年分)

平成 15 年度末：80 人	平成 16 年度末：62 人	平成 17 年度末：24 人
平成 18 年度末：25 人	平成 19 年度末：24 人	平成 20 年度末：21 人
平成 21 年度末：17 人	平成 22 年度末：17 人	平成 23 年度末：19 人
平成 24 年度末：33 人	平成 25 年度末：51 人	平成 26 年度末：61 人
平成 27 年度末：73 人	平成 28 年度末：95 人	平成 29 年度末：93 人

3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ 8 眼の角膜をあっせんした。

福岡県医師会アイバンク

3 眼

久留米大学アイバンク	1 眼
佐賀県アイバンク協会	1 眼
大分県アイバンク協会	1 眼
順天堂アイバンク	2 眼

4) 会議・セミナー

(1)第 9 回理事会

平成 29 年 5 月 24 日 長崎大学病院会議室

(2)第 5 回評議員会

平成 29 年 6 月 27 日 ホテルニュー長崎

(3)第 39 回 九州各県アイバンク連絡協議会

平成 29 年 7 月 28 日 東京（北岡・草野・浜崎）

(4)第 40 回 全国アイバンク連絡協議会

平成 29 年 7 月 28 日 東京（北岡・草野・浜崎）

(5)第 34 回 アイバンクワークショップセミナー

平成 29 年 7 月 29 日 東京（北岡・草野・浜崎）

(6)第 35 回 アイバンクワークショップセミナー

平成 30 年 2 月 24 日 東京（浜崎）

(7)第 11 回理事会

平成 30 年 3 月 28 日 長崎大学歯学部会議室

※第 10 回理事会は、書面による決議を行った

5) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は 50 名である。

6) 普及啓発活動等

(1)平成 29 年 6 月 25 日

メルカつきまちにて「アイバンクチャリティ メルカ歌祭り」が開催され、長崎大学病院眼科 井上大輔医師が、角膜移植とアイバンクについて講演した。

(2)平成 29 年 10 月 1 日

佐世保市および佐世保市以北在住のアイバンク登録者を対象に目の愛護デー無料検診が行われ、14 名が受診した。

場所：佐世保市総合医療センター眼科外来

主催：長崎県眼科医会、長崎アイバンク

7) その他報告

(1)平成 29 年 10 月 14 日

長崎新聞文化ホールにて長崎北ライオンズクラブ結成 50 周年記念特別例会が開催され、長崎アイバンク事務局 浜崎幸子が出席し、長崎アイバンクへの寄附金を受けた。

(2)公益財団法人長崎アイバンク設立 50 周年記念誌を発行した。